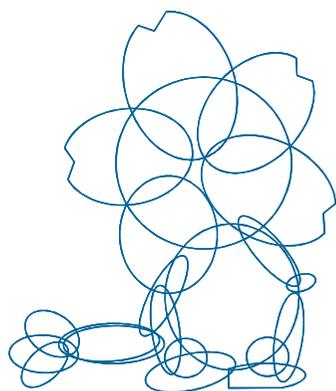
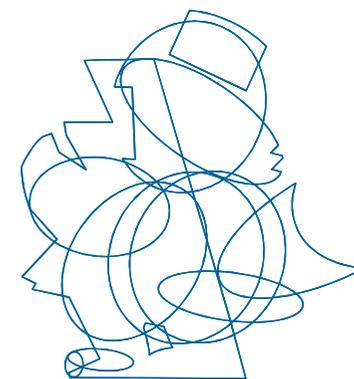


三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業 概要等について



令和4年8月
三浦市上下水道部



三浦市は、北は横須賀市に接し、東は東京湾-房総半島を、西は相模湾-伊豆半島を望み、南は黒潮踊る太平洋に面しており、三方を海に囲まれているまちです。三浦半島の最南端に位置しており、慢性的な観光渋滞が発生していましたが三崎港を要にはり巡らされた国道134号に加え、2020年8月には「三浦縦貫道路(Ⅱ期)」が開通するなど、都心部等とのアクセス向上が図られました。

➤ 人口：41,571人

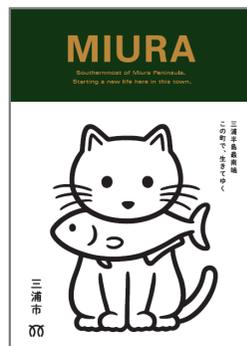
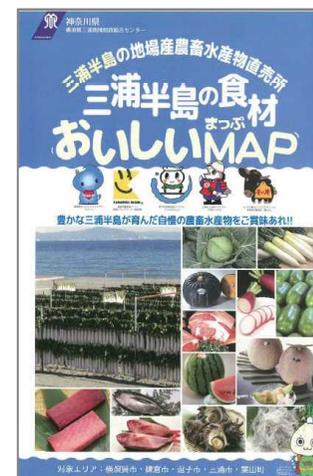
➤ 面積：31.44km²

うち、市街化区域約729ha、調整区域約2,415ha

➤ 主要産業：農業、漁業、観光

➤ 特産品：三浦大根(ダイ)、スイカ(ス)、キャベツ、キハダ等のマグロ(キ)など。
覚え方は「三浦ダイスキ」。

➤ 観光名所：三崎漁港等の歴史ある下町、三浦海岸や城ヶ島など。



三浦市移住ポータルサイト”みうら暮らし” (左)
及び、移住冊子”MIURA”(右)

(<http://www.city.miura.kanagawa.jp/seisaku/iju/index.html>)

三浦半島観光連絡協議会HP “LAUMI”

(<https://www.laumi.jp/italy-P/>)

＜下水道事業計画区域＞



三浦市人口

41,571人

東部処理区域内人口

14,784人 (35.6%)

水洗化人口

13,348人 (90.3%)

＜事業概要＞

- 事業名：三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業
- 対象区域：三浦市公共下水道事業計画区域（東部処理区）の総体
- 対象施設：
処理場（東部浄化センター）
ポンプ場（金田中継センター）
汚水管路施設の全て
- 事業期間：20年間（R5.4～R25.3）を予定

＜導入の背景と期待する効果＞

- 下水道事業においては、以下の4つの課題を抱えており、官民連携手法による経営改善が必要と判断した。
 1. 施設の老朽化に伴う、点検・更新需要の増大
 2. 人口減少による下水道使用料収入の減少
 3. 業務量増大に対応する職員の不足
 4. 一般会計繰入金の抑制
- 20年間の運営事業にコンセッション方式を導入することで、民の経営原理やノウハウを効果的に取り込み、市財政負担の軽減や事業継続に向けた体制の維持・強化等が見込まれることから、導入する方針を固めた。

2015年
(平成27年)

2017年
(平成29年)

2020年
(令和2年)

2021年
(令和3年)

2022年
(令和4年)

2023年～
(令和5年～)

導入可能性調査

中長期的な点検・更新計画策定

特定事業選定準備

公募開始

事業者選定

事業開始

20か年を予定

- コンセッションによるコスト削減の可能性を確認
- LCCの試算

国交省補助金活用

- 管路基礎調査、情報整備調査
- ストマネ計画の策定

内閣府補助金等活用

- コンセッション方式導入の決定（民間資金等活用検討審議会）
- 実施方針条例制定

- 実施方針公表（4月）
- 募集要項公表（7月）
- 競争的対話（1月）

国交省補助金活用

- 優先交渉権者選定（7月）
- 運営権設定、実施契約締結

運営権者による下水道事業運営の開始

(主な業務)

- 経営
- 改築、増築
- 維持管理等

2022年（令和4年）7月 優先交渉権者を選定

みうらラクパートナー（代表企業：前田建設工業(株)）